

花巻市は非核平和都市宣言のまち 非核平和学習会を開催しました

本市は、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言しました。

市では、この宣言の理念を推進し、市民の皆さんの非核平和に対する意識の醸成を図るため、さまざまな活動を行っています。

広島市・原爆ドーム

私たちは一人一人は、原子爆弾投下の様子や被爆体験などを改めて認識するとともに、特に若い世代に伝え、核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けた意識の醸成を図らなければなりません。

市では、平和の尊さについて考えてもらおうとともに、そのことを同世代の子どもたちに伝えてもらうことを目的に、非核平和学習会を開催。8月5・6日に平和記念式典が行われる被爆地の広島市へ市内の小学生を派遣しました。

この学習会に参加した子どもたちの感想文の一部を紹介します。子どもたちは、式典参加のほか、平和記念公園や平和記念資料館を訪れました。自分の目や耳で感じた原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さについて、自分たちの言葉でつづっています。

皆さんも子どもたちの言葉を通して、改めて平和の尊さについて考えてみませんか。

*掲載文は、非核平和学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋(原文ママ)です。全文は、市ホームページに掲載予定です。



桜台小学校6年 小原 大和 さん



桜台小学校6年 小原 大和 さん

ぼくが感じてきたこと

ぼくたちは、非核平和学習会で広島に行ってきました。実際に行ってみて、ぼくが感じたのは戦争の悲しさです。資料館で被爆した人の写真や絵を見て、核は、こんなに怖ろしいものだとかかり、たくさん命が失われる戦争はなくなっしてほしいと思います。原爆ドームでは被爆する前の説明を聞き、みんなが買いのをしたり、楽しむ場所だったと知りました。一つの爆弾で大きな建ものも一しゅんで壊れてしまう事におどろきました。

ぼくには、どのような事が出来るかを考え多くの人に知ってもらうために、しっかり戦争や原爆で起こった事や被害者の方の様子などをみんなに、伝えていきたいです。そして、今、世界で戦争や、紛争が起きている国がまだあり、多くの人の命が失われないうように平和が一番大切という事を気づいてほしいです。

非核平和学習会に行ってきたこと



東和小学校6年 小原 琉貴 さん

ぼくは、非核平和学習会で広島に行ってきた。特に印象に残っている事が三つあります。一つ目は、原爆の被害です。爆心地から四キロメートル以上はなれた所でも家が壊れる被害が出ました。二つ目は、放射線による人体の影響です。主な病気は、白血病やガンで、多くの人々が亡くなりました。最後は資料館の見学です。あまりにも悲惨な物ばかりで、ぼくは手が震えて改めて戦争、原爆の恐ろしさを実感しました。

ウクライナやイスラエルでは今も戦争が続いています。自分達と同じ年の人が食べ物がなく、学校に行けず毎日おびえながら生活しています。早く戦争が終わり、核を作らない、持たない、皆が平和に生活出来る世界になれば良いと思います。ぼくはこの非核平和学習会で学んだ事を多くの人に伝えていこうと思います。

財政健全化判断比率

区分	花巻市・5年度 (カッコ内は4年度)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	(- 1.1%)	11.86%	20%
連結実質赤字比率	(- 1.1%)	16.86%	30%
実質公債費比率	8.7% (8.4%)	25%	35%
将来負担比率	44.4% (50.2%)	350%	

資金不足比率

会計名	花巻市・5年度 (カッコ内は4年度)	経営健全化 基準
公設地方卸売市場事業	(- 1.1%)	20%
産業団地事業	(- 1.1%)	20%

注1…表中、各基準は国が示した数値です

注2…赤字額、資金不足がない場合は、「-」で表しています

【用語解説】

▶実質赤字比率/普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率/市の全ての会計(普通会計・特別会計・公営企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率/市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率/市のすべての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)をみるための比率▶資金不足比率/特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

本市の財政状況
健全化基準を全てクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率(4分類)と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が▼健全団体▼早期健全化団体(要注意状態)▼財政再生団体(破たん状態)のいずれの状態にあるか、また各会計の経営がどのような状態になっている

のかを判断することができます。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化に向け取り組んでいく必要があります。

本市では、基準値以上となる項目はなく、財政状況は健全ですが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政の健全化に取り組んでいきます。

基金(貯金)と市債(借金)の状況

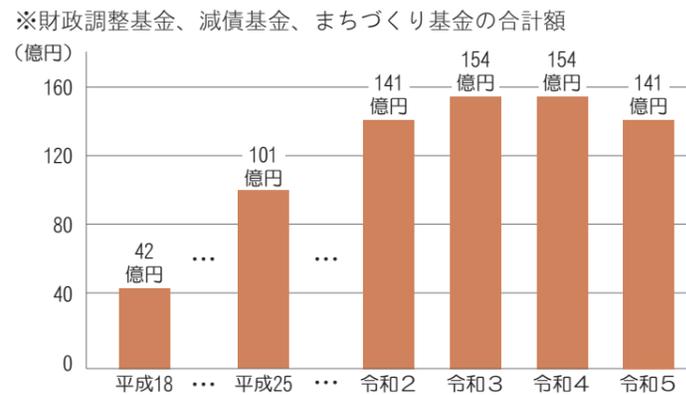
■基金(貯金)について

本市の主な一般会計の基金(貯金)「財政調整基金、減債基金、まちづくり基金」の令和5年度末現在高は、141億1千円です。

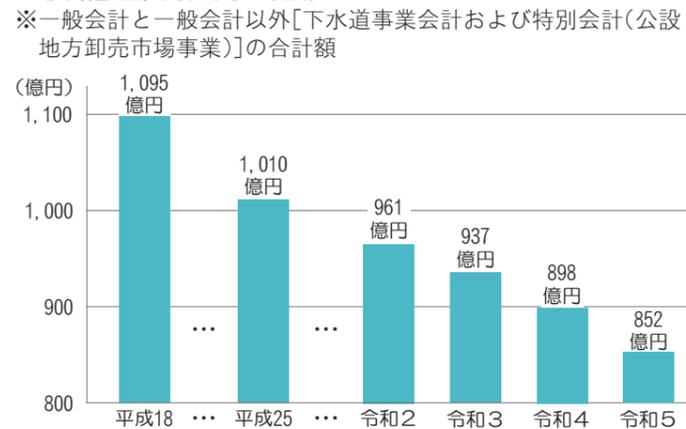
■市債(借金)について

本市の市債(借金)の令和5年度末現在高は前年度末と比べ、およそ46億円減少し、852億円とな

主な一般会計の基金(貯金)の年度末現在高の推移



市債(借金)現在高の推移



りました。

そのうち、一般会計における市債現在高は516億円で、国から後年度に地方交付税として受けることができる額などを除いた、市独自の財源で返済しなければならぬ、一般会計における市債残高の実質的な将来負担額は126億7千円です。前年度末と比べ、およそ7億円減少しました。

なお、一般会計以外の市債残高は336億円で、前年度と比べ、およそ19億円減少しました。